

【件名】	路面補修工事（5二の8）	【事務所名】	第二建設事務所	
【工事場所】	1工区 東京都世田谷区喜多見六丁目地内から同区成城一丁目地内まで(世田谷通り) 2工区 東京都世田谷区砧四丁目地内から同区砧六丁目地内まで(荒玉水道道路)	【受注者名】	ピュアロード株式会社	
【工期】	令和5年12月11日から令和6年7月5日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 菅原 一晃	

【工事概要】

1工区 工事延長：488.4m
 車道舗装工（低騒音舗装） 3,468㎡
 車道舗装工（密粒度改質Ⅱ型） 1,120㎡

2工区 工事延長：201.0m
 車道舗装工（密粒度改質Ⅱ型） 1,055㎡
 薄層カラー舗装工 120㎡

【表彰理由】（※発注者側評価）

- 路線の異なる1, 2工区に分かれた現場であったが、綿密な実施工程表を基に計画どおり工事を進め、適切な現場管理で業務を履行した。
- ICT活用やHTT推進等に積極的に取り組み、工事の効率化や地球環境に配慮し施工した。
- 小学校からの要望や沿道住人の苦情対応に真摯に取り組み、適切に解決に当たった。



施工前（1工区）



施工後（1工区）

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
 - 世田谷通りは屈曲部を含む坂道であり、非常に見通しが悪い施工区間であった。
 - 日々、関連企業やバス会社3営業所に連絡をとり、23時までは車線減少のうえ両側通行、23時以降は片側交互通行と、渋滞の緩和を図りつつ施工を進めた。
 - 荒玉水道道路の施工区間は小学校前のため、卒業式までに工事完了という要望を受け、遅延が生じないように日々の工程管理を徹底した。
- ◇ 特に工夫した点
 - 施工計画の段階で、設計担当者や担当監督員等と適時協議を行い、施工継目を極力発生させない区割りや施工方法を積極的に提案した。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
 - 信号待ちの道路利用者の方から「工事が始まってから振動が減って走りやすくなったよ」と声をかけられたときはやっけていて良かったと感じた。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
 - なかなか日の目を見ず理解されづらい業界であるが、どんな環境の人でも「さぼらずに探求心」があれば働く事のできる仕事であると感じている。
 - 失敗を怖れずに、自分達の道を創ってほしい。



小学校前の安全対策として、薄層カラー舗装を実施